



町章デザイン決定

- 1、配置し、日常の授業改善により基礎、基本の確実な定着に努めます。
- 2、学校、地域、行政が連携、協力して地域人材等を活用し、開かれた学校づくりに努めます。
- 3、外国語に慣れ親しむと共にコミュニケーションの能力を高めるため、幼稚園、小学校、中学校に外国語（英語）指導員を派遣いたします。
- 4、情報化教育のより一層の推進を図るため、小、中学校にコンピュータ指導補助員を派遣し、児童生徒のコンピュータ操作、活用能力の向上に努めます。
- 5、具志頭小学校や白川小学校の校舎等の老朽化に伴い、旧町村の整備計画などの答申を基本に、八重瀬町学校施設整備検討委員会を立ち上げ、計画的に校舎建設整備を推進していきます。

生涯学習につきましては、まず第一に生涯学習のニーズは人々の日常の身近な生活の場として理解が得られ求められている。このような中、高まりつつある学習意欲に応えるべき学習機会を様々な年齢層の人が自由に交流し、多様に地域全体の学習環境を整えることにより学習雰囲気づくりは欠かせないところであります。よって、その目的を達成するためには「多様化、高齢化する学習ニーズへの対応」と「組織運営の活性化」を目標に、関係組織、団体及び個々を対象にした講演、講座、サークル、教室等の事業を工夫改善をしつつ、地域住民の要望等を可能な限り取り入れて推進していきます。

スポーツ、社会体育振興につきましては、すべての人がそれぞれの体力や年齢に応じて気軽にスポーツに親しむことのできる魅力的なスポーツ環境づくりに努め、豊かで活力ある生涯スポーツ振興を推進いたします。本年度は、各種スポーツ教室、大会の継続実施をはじめ総合型地域スポーツクラブ育成推進事業をより充実した健康体力づくり、生涯スポーツへと展開していきます。

文化財、文化振興につきましては、長い歴史の中で創り上げられた民族文化の遺産であり、文化創造の原点であります。先人達が残した文化を正しく継承し活用していくことは、私達に課された使命であり、貴重な歴史遺産の保存活用と地域がもつ優れた伝統文化の保存継承を図り、文化財の愛護精神の高揚を図ります。

文化振興については、芸術文化の振

興を町文化協会との連携のもと積極的に取り組み芸術文化の振興に努めます。また、我が町が生んだ偉大な先輩、謝花昇先生の顕彰するにふさわしい場所への銅像移転について検討し早期実現を目指します。資料館については、東風平歴史民俗資料館と具志頭歴史民族資料館の統合に向けた取り組みと具志頭歴史民族資料館の充実を図ります。

主な事業として、港川フッシャーの町指定に向けての積極的な取り組み、町史、村史編纂事業、平和企画事業の実施、子ども芸能祭、琉球芸能祭、舞踊フェスティバル、空手演舞大会、美術工芸展、資料館企画展を実施いたします。

また、将来にわたる国内、国際交流の進展を踏まえ、地域特性を活かした交流の活性化による対外的に開かれたまちづくりを推進いたします。昨年、高知県香南市との姉妹都市提携盟約調印、防災応援協定調印式も終え、これからは、これまで以上に姉妹都市として産業、教育、文化の交流を積極的に推進していきたいと思っております。

6 個性ある住民主役の協働のまちづくり

少子高齢化の到来、高度情報化や国際化の進展、厳しい経済情勢等の変化の中で、中央集権体制から地方分権の住民型社会へと国、地方・行政と住民の新たな関係の構築が求められています。

地方分権の推進は、地方自治体の自主性、自立性を高めていくことで、住



富盛イイサー

民と行政が役割と責任を明確にしながら協働社会の実現に努めなければなりません。

行政の主役は住民であり、住民の立場に立って行政を運営することは言うまでもありません。住民が納得する行政、まちづくりを推進するには行政の政策形成、実施、評価において、住民その他多様な主体の参加協力が不可欠です。住民と行政が協働により行政運営を推進するためには積極的に情報を公開し、情報の共有化を図り行政の公平性、透明性を確保した上でまちづくりを推進していきます。

広報・公聴活動については、町広報誌「広報やえせ」の発行やホームページから、町の話題や行政の動き、各種団体からのお知らせなどの情報を広く住民に発信していきます。また、広報誌については、自主財源の確保の一環と町内事業所の活性化を目的に一般の事業所から広告を募り広告掲載を行っていきます。必要な情報につきまして

は町民との共有化を図り、町民が行政へ参加できる協働の体制づくりの一端を担っていきたいと考えています。

・コミュニティ助成事業について

本町には33の自治会があり、それぞれ地域の特性を活かしたコミュニティ活動が展開されています。特に、各自治会集会所を拠点に自治組織の行事や、老人会、婦人会、子ども会などの各種団体の活動が行われており、自治集会所の果たす役割は極めて大きいものとなっております。この活動拠点である自治集会所の老朽化などによる再整備の課題も多々あり、そのことについても住民が一体となって、その必要性や施設規模、予算等を考慮し検討することが必要となっております。

しかしながら、昨今の厳しい財政状



やえせ桜まつり

況については各自治会も同様で、その施設整備に係る費用を地元が全額負担することは非常に厳しい状況と考えます。そのため、本町では地域の方々と慎重に議論を重ね、施設整備の規模等や補助事業の導入、町補助金のあり方などについて検討しているところであります。

7 効率的な行財政基盤を確立するまちづくり

多様化、高度化する住民ニーズに適切に対応するため、明確で効率的な行政運営の見直しや情報化などを推進し、財政基盤の安定したまちづくりを目指します。行政組織の横断的な連携強化とともに、職員の資質の向上や能力開発のための研修、専門職員の配置を行うことにより、質の高いサービスなど効率的な行政執行体制づくりを推進します。

行政改革につきましても、地方自治体が早急に取り組まなければならない最も重要な政策課題であります。本町の財政状況は、国の三位一体の改革による地方交付税削減や景気の低迷により地方税収入の増が期待できない状況及び合併前から継続している区画整理事業、農漁業集落排水事業、公園整備事業など多額の対応費を要する大型公共事業を行っており、今後ますます厳しくなることが予想されます。また、地方分権の時代を迎え、今後も国や県から権限委譲が行われ徹底した行政改革をしなければ、この難局を乗り切ることが困難な状況であります。本町は、



具志頭城社から望む海岸

の御理解と御協力をお願いするものであります。

特に、旧町村から継続事業である都市公園整備事業や土地区画整理事業並びに農業集落排水整備事業等多くの大型事業の執行や教育環境の整備、新庁舎建設等の新規事業の導入など、数多くの事業が予定されていることや年々増加する国民健康保険事業、老人医療費、介護保険事業費などへの財源の繰り出し、さらには公債費の増加など、急激に増え続ける財政需要に歯止めをかけ、健全で確かな財政運営を確立することが急務となっております。そのためには、自主財源の根幹である地方税の収納率の向上や使用料、手数料の確かな確保などに最大限の努力を行い、歳出にあたっては、まず、投資的経費の抑制や財源を見合わせた計画的な執行を図り、さらに人件費等の経常経費の節減を断行しつつ、事務の合理化と財源の効率的配分に務めなければなりません。

以上のことから、本年度は、今後の八重瀬町の健全な財政運営の確立を図っていきたく考えています。以上、施策及び主要事業について、ご説明申し上げましたが、厳しい財政状況のなか、行財政改革を着実に進め、財政健全化に努力し、町民、行政が一体となり新しい八重瀬町のまちづくりに邁進していく所存であります。

議員各位並びに町民の皆様のご理解、ご協力を心からお願ひ申し上げ、平成19年度の施政方針とさせていただきます。